JSPS Information

◇日本惑星科学会第36回総会議事録
◇日本惑星科学会第92回運営委員会議事録
◇日本惑星科学会第93回運営委員会議事録
◇日本惑星科学会賛助会員名簿
◇日本惑星科学会主催・共催・協賛・後援の研究会情報

◇日本惑星科学会第36回総会議事録

日　　時：10月24日(月)16：10－17：00
場　　所：日本惑星科学会2011年秋季講演会
　　相模女子大学翠葉会館
　　〒252-0383 神奈川県相模原市南区文京2-1-1
正 会 員：628名
定 足 数：62名
参加人数：118名
委 任 状：114通(議長111，林祥介会員2，佐々木晶会員1)

1. 開会宣言

平田総務専門委員長が開会を宣言.

2. 議長団選出

運営委員会からの推薦で議長に千秋博紀会員，書記に寺居剛会員が選出された.

3. 議事

3.1. 第11期上期(2011年度)中間報告

荒井財務専門会長から第11期上期の中間報告がなされた.
満場一致で承認された.

3.2. 第11期下期(2011年度)予算案

荒井財務専門会長から第11期下期の予算案の説明がなされた.
予算額は前年度とほぼ同じ.
学会賞20万円を計上.
満場一致で採択された.

4. 報告事項

4.1. 自然災害に伴う会費免除措置について(荒井財務専門委員長)

現在までに申請者3名.

4.2. 最優秀発表賞(佐々木学会賞選考委員長)

4名が応募し，3名が発表した.
藤谷渉会員(東京大学)が最優秀発表賞を受賞.

渡邊会長から藤谷会員に表彰状と賞金が贈呈された.

4.3. 2011年秋季講演会の報告(田中ISASLOC総務)

収入が支出を上回った. 追加で会場修繕費が必要だが, 赤字になることはない.

4.4. 2012年秋季講演会の案内(中川神戸大LOC委員長)

2012年秋季講演会LOCは神戸大学.

2012年10月24－26日(10月27日に一般講演会).

会場は神戸大学総合研究拠点研究棟(神戸市ポートアイランド).

4.5. 来る10年第二段階について(杉田来る10年検討第二段階委員)

パネラー：向井正, 田村元秀, 笠羽康正, 中村智樹, 杉田精司

提案書受付

期間：7月1日～11月末日

対象：ミッション提案と観測機器提案

目的：高い科学的価値を持ち且つ実現可能な惑星探査提案を学会として用意する

第二段階の目標：提案内容を煮詰めて完成度を高める手助けや実現可能な形に練度を高めること

※複数提案チームの連携の斡旋等を行うこともあり

2011年12月　各パネラーによる提案書査読と意見書作成

2012年1－3月　意見書回覧, 取りまとめ作業

提案者へのヒアリング

提案者への答申

5月　連合大会のセッションでの各提案の説明

8月　第二段階結果まとめの原稿の遊星人への投稿

2012年5月　第三段階への引き継ぎ

4.6. その他(渡邊会長)

次回から研究者賞の賞金を記念品に変更(寄付金が尽きたため). 学会発表賞の賞金は維持.

5月の連合大会後に会員の身分を確認(会費の追加徴収は無い).

探査プロジェクトのマンパワーが不足している. コミュニティの支援・方針決定が不可欠.

5. 議長団解任

6. 閉会宣言

平田総務専門委員長が閉会を宣言.

◇日本惑星科学会第92回運営委員会議事録

日　　時：2011年10月23日(日)18：40－21：30

場　　所：相模女子大学キャンパスマーガレットホール2FCafeteria101

運営委員会委員：

(出席)　渡邊誠一郎, 田近英一, 倉本　圭, 荒川政彦, 永原裕子, 林　祥介, 渡部潤一, 中村昭子, 橘　省吾, 中本泰史, 並木則行, 三河内　岳, 小久保英一郎, 平田　成, 千秋博紀, 荒井朋子, 小林直樹, 佐々木　晶, はしもとじょーじ

欠席(委任状有)　井田　茂, 城野信一, 中村良介, 高橋幸弘

オブザーバー：田中　智(2011年度LOC), 出村裕英(行事部会委員),

大槻圭史，保井みなみ（2012年度LOC）

議　題：

1. 会計第11期上期中間報告

荒井財務専門委員長より報告され，中間報告は了承された．

2. 会計第11期下期予算案

荒井財務委員長より報告がなされた．昨年度までにはなかった項目として，学会誌出版事業費の中で原稿起こしのための費用を計上．学会設立当初の経緯などについて当時の関係者にインタビューして記事を作成し遊星人に掲載する予定で，インタビューの音源から原稿を起こす作業の委託費用である．質疑応答の後，予算案は了承された．

3. 自然災害に伴う会費免除措置について

荒井財務委員長より報告がなされた．予想に比べると申請者は少なく，現時点では，正会員2名，学生正会員1名の計3名より申請．自然災害に伴う会費免除措置を今年度も行うことが了承された．

4. 会員区分の更新について

荒井財務委員長より，会員区分更新時期の変更提案がなされた．目的は，会員区分の更新情報をタイムリーに把握するため．従来は1月末の会費請求前に変更していたが，これに加えて5月末頃にも実施したい．現状だと4月に会員区分が変更になった会員の秋季講演会の参加費が古い区分にしたがってしまう．

Q.　この変更による秋季講演会の増収は少ないのでは？作業が割に合わないように思える．

A.　1月にやっていたことを5月に実施すると考えれば，作業総量は変わらない．

1月は最終確認として残るが，作業量は小さい．

正直者が正しく取り扱われるようにすることは組織として重要．

事務手順を確認の上，steeringに流す．

5. 学会賞賞金の減額について

荒井財務委員長より学会賞の賞金減額について提案があった．元手の寄付金を使いきり，現在は一般会計から拠出しているが厳しい．年10万円程度であれば出せる．関連参考情報：連合の宇宙惑星セクションでは賞の創設が検討されており，賞金も連合から支出できる可能性がある．SGEPSSでは賞金なし，複数受賞可の発表賞がある．議論の後，賞自体は続けることに決定．ただし，研究者賞の賞金を廃止とし，記念品に替える．発表賞賞金は学生奨励のために現行の金額で継続する．記念品については財務が検討する．周知期間が必要なので2011年度研究者賞（2012年5月に決定され，2012年の秋季講演会で講演をする）までは10万円を支出することとした．

6. 寄付金の使途について

荒井財務委員長より，昨年度10万円，今年度5万円の計15万円の寄付があったことが報告された．昨年度分は若手の研究活動支援に使う要望があり，今年度分は用途に対して特に要望はなし．これまでの研究会開催に伴う旅費支援の要望がないため，学会賞賞金として活用させていただくこととなった．結果は寄付者に報告する．

7. 購読会員の中途解約規定の追記について

荒井財務委員長より，現在購読会員の中途契約時に返金をしない旨が明記されていないため，追記が必要との提案がなされ，文言を丸くして，追記を行うこととなった．

8. 秋季講演会への学部生・高校生の参加について

中村行事部会長より，今回，学部生・高校生の参加費に関する問い合わせがあったことが説明された．今年度はLOC判断で，高校生：1500円（予稿集込み），学部生：普通の学生扱い，とした．システム的には対応できないので，手動の個別対応をした．来年度以降どうするかが議論された．留意すべき点としては，高

校生は今後急に多数の参加者が多数来るとは思えない．一方，学部生は学会としては高校生よりは重視すべき．当座は今年度のような形でよいのではないか．

9. 2012年秋季講演会・学会賞実施案等

大槻2012年秋季講演会LOC総務より，説明がなされた．

実行委員長：中川，総務：大槻という体制で，10/24(水)－26(金)に実施する．

10/27に一般向け講演会予定(詳細未定)．ポートアイランドに神戸大が建設中のコンベンションホール(CPSの隣)を使用．会場使用料は無料になりそう(共催を入れる，参加費が実費相当であることなどの条件付き)．

10. 総務専門委員の追加承認

平田総務専門委員長より，諸田智克会員の追加が提案され，承認された．

11. 学会サーバードメインについて

千秋情報化専門委員長より，説明がなされた．歴史的経緯でwakusei.gr.jpが確保されている．今後の維持費4000円弱程度/年．質疑応答の後，今後も維持することとなった．

12. 日本地球惑星科学連合の報告

永原日本地球惑星科学連合連携専門委員会委員長より連合に関して3点報告がなされた．

連合の賞について，公平性を鑑みて前回は見送ったが，固体セクションなどはやっていて，宇宙惑星セクションも必要かもしれない．周辺の意見を聞いて，惑星科学会として意見があれば連合の時に意見を出してほしい．惑星科学会は秋に発表賞を行なっているため，区別化をどうするかも問題である．

連合がレビュー誌を発刊することを決定した．会費引き上げは予定されていない．予算案を明示してほしい，手間などを慎重に議論してほしい等の意見が出た．

連合の意思決定に対して投票する代議員の選挙期間中である．今後のことも考え，投票いただくよう会員に呼びかけていただきたい．

13. 来る10年第二段階について

並木将来惑星探査検討グループ長より，連合大会以降の経過と今後の予定の説明がなされた．今の段階は手を挙げれば良く，手を挙げてくれれば，アドバイスする．すでにワーキンググループ以上になっているものは入っていないが，状況が変わり入りたいなら歓迎する．明日の総会では杉田来る10年検討第二段階委員が説明を行なう．

14. 学会予稿集のNIIにおける電子化の経緯と現状について

出村行事部会委員より日本惑星科学会秋季講演会予稿集に関し，国立情報学研究所(NII)電子図書館に係る申し合わせに関して報告がなされた．申し合わせ書，コンテンツ提供条件について承認された．

15. 学会賞受賞者の決定

佐々木2011年度学会賞選考委員会委員長より，講評が述べられ，2011年度学会賞選考委員会は藤谷渉会員を受賞者として推薦することが報告され，異議なく了承された．

報　告：

1. 入退会について

平田総務専門委員会委員長より報告がなされた．現在の会員数は628名．

賛助会員の増減なし．

2. 遊星人の発行状況

はしもと編集専門委員会委員長より遊星人の発行状況について説明があった．発行は順調に進んでいる．特別な報告としては，2010年3，4号におけるカレンダー不掲載についてお詫びの記事を2011年3号に掲載した．また，カレンダーの今後の扱いについても同号に記事を掲載して会員に周知した．

3. 2011年秋季講演会報告

田中2011年度LOC総務より報告された．つつがなく一般講演会が終了した．

秋季講演会は131名が事前申し込み，本日で188名．懇親会申し込みは現時点で101名．予稿投稿にミスがあって期日内にサブミットされなかった方が数名出た．会場費が20万円から5万円に下がり，予算41万円のところ，現状44.5万円の収入．ただし，他に修理費やカーペットクリーニング費が必要となる．黒字額は学会会計に返納することとなっている．時期LOCとの引継ぎを明日昼に行なう．

4. 世界天文年2009報告書について

渡部委員より，世界天文年2009(惑星科学会も主催者にのひとつ)の報告書ができたことが報告された．Web上にもある．

5. ACM2012国際会議について

渡部委員より，延期になったAsteroids，Comets，Meteors2011(日本惑星科学会後援)をACM2012として5月に新潟で開催することが報告された．ぜひ参加してほしい．

6. ISAS宇宙理学委員会報告

渡邊会長より報告がなされた．あかつきの現状報告，臼田の宇宙空間観測所のアンテナ更新提案，固体惑星系はやぶさの集中審議で科学成果の紹介，キュレーションについて今後どうするかの議論，国際AO委員会立ち上げについて，はやぶさ2についてプレゼンと意見交換などがあった．はやぶさ2は2014年夏まで，現実的なウィンドウが3回ある．衝突装置のリスクがある．

日程はタイトであり，プロジェクトの強化が必要で，宇宙科学全体でサポートしないと成功が難しい．宇宙理学委員会でタスクフォースを立ち上げる方向で進む．12月頃の理学委員会では，今後20年くらいに各委員が関係する分野で考えているミッションについてレビュー．特に学会と関係が深いのは惑星探査，月・小惑星探査．予算減により，いままでから半減する，小型化をするなどの対応が必要．

7. その他

平田総務委員長より，第36回総会の議長として千秋博紀会員，書記に寺居剛会員が推薦され，了承された．学会から推薦した地球化学研究協会学術賞について，三宅賞を留岡会員，奨励賞を橘会員が受賞．

◇日本惑星科学会第93回運営委員会議事録

期　　間：2012年1月12日(木)～1月18日(水)

議　　題：編集専門委員会委員の変更

運営委員会委員：

出席者(23名)　渡邊誠一郎，井田　茂，田近英一，倉本　圭，荒川政彦，永原裕子，林　祥介，渡部潤一，中村昭子，橘　省吾，中本泰史，中村良介，並木則行，三河内岳，小久保英一郎，平田　成，千秋博紀，荒井朋子，城野信一，高橋幸弘，小林直樹，佐々木晶，はしもとじょーじ

(欠席者)なし

成立条件：期間内に議決返信のあった者を委員会出席とみなす

議決方法：上記期間内にe-mailにより投票

議　題．編集専門委員会委員変更の承認をお願いしたい．

編集委員の退任

城野信一(名古屋大学)

編集委員の新任

杉山耕一朗(北海道大学)，関口朋彦(北海道教育大学)，谷川享行(北海道大学)，諸田智克(名古屋大学)
議題は全会一致で承認された．賛成：23，反対：0

報　告．WEB技術担当の変更について．

2012年度秋季講演会に関連し，WEB技術担当者が，小川和律(宇宙航空研究開発機構)から，末次竜(神戸大学)に変更された．

◇日本惑星科学会賛助会員名簿

2012年3月25日までに，賛助会員として本学会に御協力下さった団体は以下の通りです．社名等を掲載し，敬意と感謝の意を表します．(五十音順)

アメテック株式会社カメカ事業部
シャープ株式会社
有限会社テラパブ
株式会社ニュートンプレス
(財)リモート・センシング技術センター

◇日本惑星科学会主催・共催・協賛・後援の研究会情報

(a) 場所，(b) 主催者，(c) ウェブページ/連絡先など．
転記ミス，原稿作成後に変更等があるかもしれません．各自でご確認ください．

2012/5

16-20　Asteroids, Comets, Meteors 2012
(a)TOKI Messe (Niigata Convention Center), Niigata, Japan
(b)ACM 実行委員会(日本惑星科学会協賛)
(c)http：//chiron.mtk.nao.ac.jp/ACM2012/

20-25　日本地球惑星科学連合2012年大会
(a)幕張メッセ国際会議場，千葉県千葉市　(b)日本地球惑星科学連合(日本惑星科学会共催)
(c)http：//jpgu.org/meeting/index.htm